



中橋 友子 議員
(副議長)

問

十勝17町村の31医療機関では、新型コロナウイルスの診療・検査体制がつけられた。しかし、幕別町内の医療機関はどこなのか情報がない。町立病院のある自治体では率先して受け入れを公表している。本町においても町内医療機関に協力を求め、コロナ感染に不安を持つ町民の診療・検査の体制を構築すべきである。また感染防止対策を徹底し、検査につなげるために「幕別町」の感染者数を公開するよう北海道に働きかけるべきと考える。町の見解を伺う。

町長

発熱等により新型コロナウイルス感染症が疑われる場合の外來診療は、国が示したフローチャートに基づき、まず、かかりつけ医に電話相談を行い、医療機関での診療や検査の必要があると判断された場合は指示に従い受診をするが、相談をした医療機関が検査を行えない場合は、検査等が行える医療機関を紹介することとなっている。現在、公表に同意のあ

問 町内医療機関での新型コロナウイルス感染症対応や情報公開の在り方について町の見解は

答 国、道、市町村が一体となり、感染拡大防止対策に取り組むことが重要

る医療機関名が北海道のホームページにおいて公表されている。

十勝管内では、帯広市医師会によりPCR検査を行う帯広地域外来・検査センターが10月12日から運用を開始され、町村部では十勝医師会が主体となり「十勝医師会新型コロナウイルス感染症診療・検査ネットワーク」が作られ、17町村、31医療機関で10月16日から運用が始まっており、身近な医療機関で検査が可能となっている。

感染者に係る情報は、北海道が「新型コロナウイルスに関連した患者の発生について」として年代や性別、国籍、居住地、職業、現在の状態、発症日、陽性確定日などについてホームページ上で公表しているが、感染者の情報は、本人が同意した場合のみ公表ができることとなっており、市町村が関与する仕組みではない。

十勝管内では、11月30日から民間ホテルを借り上げ宿泊療養施設を開設するにあたり、十勝総合振興局長から人員確保の協力依頼が

あり、本町では11月30日から保健師を派遣、12月20日からは事務スタッフの派遣を予定している。

感染拡大期には、国、道、市町村が一体となり、感染拡大防止対策に取り組むことが重要であり、今後必要に応じて協力を進めていく。

問 幕別町第4次行政改革推進計画の進捗状況と評価は

答 9割以上の項目で取組を進めている

問

業務の外部委託や民営化を進め、職員削減や受益者負担増を求めてきた「行革計画」は今年で35年目を迎える。

現在「第四次計画」を実施中で今年度が中間見直しのある。その進捗状況と評価について伺う。

また、今後の見直しの課題として

①医療・介護が十分に提供できる体制、②災害に強い体制、③多様な男女共同参画の推進、④非正規職員の待遇改善と正規職員化について伺う。



町長 現在の「行政改革大綱(第4次)推進計画」前期計画では、「町民との協働に基づく行政経営の推進」など4つの大項目を取組む柱とし、具体的事務事業として69の細項目を設定している。この細項目のうち実施済が53項目、検討中が11項目、未実施が5項目で9割以上の項目で実施済もしくは検討中として取組を進めている。

見直しの課題については、①災害時に想定される問題や課題を明確にし、より実践的な対策を講じられるよう取り組んでいる。②定期的に災害対策本部の設置訓練や避難所の開設訓練など体制強化に取り組んでいる。③多くの町民が興味を持ち、理解を深めていただけるよう周知・啓発に努めている。④会計年度任用職員制度により待遇の改善が図られた。必要な正規職員については、住民ニーズ、業務量、業務内容等を総合的に勘案し計画的に採用を行っていく。